

## 平成25年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【研修レポート】

実施地区：宗谷地区

研修者氏名（学校名）：久保 俊博（枝幸町立歌登小学校）

研修実施日：平成25年11月21日（木）～平成25年11月22日（金）

研修先：つくば市（つくばAZUMA学園，春日学園，つくば竹園学園）

研修目的：実践先進校視察及び情報収集

キーワード：小中一貫教育、継続的な教育課程の編成

### 1. 視察の目的

本校は、現在、小中連携教育を意識した取組を行っています。その連携をより深めた内容が「小中一貫教育」になると考え先進校への視察を考えていたところ、「第8回小中一貫教育全国サミット in つくば」が開催されることを知り、この大会に参加し実際の一貫教育について学ぶことが今後の小中連携に有効と考えました。

### 2. つくば市小中一貫教育推進基本構想

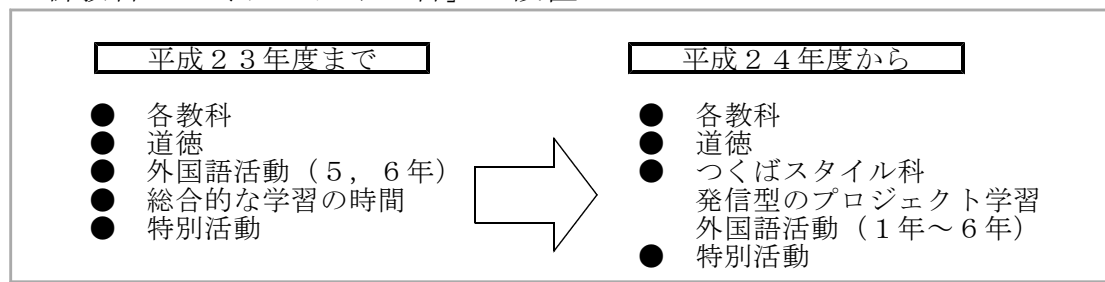
- (1) 学習指導要領に沿いつつ、「教育課程特例校」の制度を生かして推進する。
- (2) 施設分離型及び施設一体型小中一貫校のそれぞれの特長を生かし、保護者の協力、地域や大学研究機関との連携を図りながら推進する。
- (3) 9年間を見通した弾力的・効果的な教育課程を編成・実施する。
- (4) 6－3年制を基盤としつつ、児童生徒の心身の発達に合わせられるように4－3－2年の区切りを取り入れ、発達段階を考慮した生活集団、学習集団の弾力的な編成をする。

### 3. つくば市の小中一貫教育の歩み

平成19年度に推進委員会を発足し、平成20年度からモデル校を指定しながら研究を重ね、その後、文部科学省の「教育課程特例校」の指定を受け、平成24年度より市内すべての小中学校（15学園）で「小中一貫教育」を完全実施しています。

### 4. つくば市の小中一貫教育の特徴

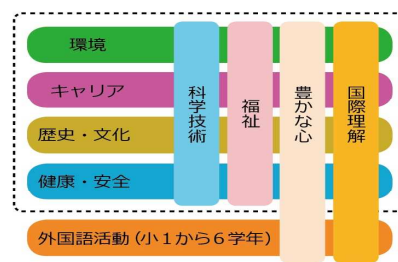
- (1) 各学園内の小中学校において、義務教育9年間を貫いた共通の「目標、指導内容、指導方法」を設定し、9年間を柔軟に区切り、段階に応じて小学校教科担任制や中学校教員による小学校でのTTの授業実施。
- (2) 交流授業や行事などでの小・中交流、小・小交流などの合同学習や交流学習の実施。
- (3) 新教科「つくばスタイル科」の設置



### 5. 次世代型カリキュラム「つくばスタイル科」の具体的内容

## つくばスタイル科の学習について

発信型のプロジェクト学習では、8つの内容（環境、キャリア、歴史・文化、健康・安全、科学技術、国際理解、福祉、豊かな心）に、つくば市の教育資源（自然・地域素材、大学・研究所、先進的ICT、その他）を通して、3つの学びのステップ（In・About・For）を通して「つくば次世代型スキル」を育成する。また、外国語活動（1～6年）では、外国語（英語）の音声やリズムに慣れ親しみ、外国語を使った活動を体験することを通して、つくば次世代型スキルの一つである「言語力」を育み、日本語や外国語を使ってコミュニケーションに対する積極的な態度を養う。



## 6. 視察校の学園経営について

つくばAZUMA学園は、吾妻小と吾妻中が一緒になった施設分離型の小中一貫校。この学園では、「つくば次世代型スキル」を意識しつつ、各教科・道徳・特別活動などの9年間の指導の系統性に着目し、それぞれの内容で特に育成すべき「重点スキル」を意識して指導しているという「次世代型AZUMAプラン」を設定し、そのプランに基づいて授業が展開されていました。



## 7. 基調講演「小中一貫教育がつくる未来の学校」から

筑波大学の樋口直宏氏より基調講演があり、その中で小中一貫教育の成果として（1）英語に関する興味関心の増加（2）問題行動の減少（3）児童生徒や家庭などに関する情報共有（4）挨拶の励行による地域とのふれあいをあげていました。逆に課題としては、（1）出前授業における中学校側の負担（2）所有免許状と兼務発令



（3）ICT教育の困難さ（4）児童生徒の移動時間の確保及び交流継続、予算確保（5）学校規模、児童生徒に関する言及は少ない、との報告がされていました。

## 8. 最後に

今回、私たちが小中一貫教育という動きをするためには、（1）連携及び交流のレベルで学校間が成熟していること。（2）地域社会・保護者を巻き込んだ教育を目指さなければならないこと。（3）行政の大きなバックアップが必要、の3点が重要だと感じました。とにかく、「小中一貫教育」とは、目標として掲げた児童生徒像に迫るための手段の一つであることを改めて感じた研修でした。



余談にはなりますが、さすが学園都市と感じたところは、視察した学校の玄関前で電動立ち乗り二輪車のセグウェイ試乗会が開かれていたことです。あまりにも希望者が多くて乗ることは諦めましたが、大学や研究所が多い土地柄だと実感したひとときでした。今回、このような機会をいただき本当にありがとうございました。